

資料	
----	--

奥州市 景気動向調査報告書

実績：平成21年10月～12月期

見通し：平成22年1月～3月期

奥州商工会議所

平成22年 3月

奥州市景気動向調査報告書

— 平成 22 年 3 月調査結果 —

〔 実 績：平成 21 年 10 月～ 12 月期
見通し：平成 22 年 1 月～ 3 月期 〕

■調査期間：平成 22 年 1 月 4 日～1 月 15 日

■調査目的：奥州市全体の企業景気動向を四半期ごとに把握し、地域産業の振興並びに経営指導の参考に資することを目的として実施する。

■調査機関：奥州商工会議所・前沢商工会

■調査方法：奥州市全体の把握のため、奥州商工会議所本所、江刺・胆沢・衣川各支所及び前沢商工会会員事業所の中から、業態・規模を勘案して抽出した 500 事業所に対するファクシミリによるアンケート調査(無記名方式)。
(水沢 359 事業所 江刺 87 事業所 胆沢 21 事業所 衣川 8、前沢 25 事業所)

■回収状況：調査対象先 500 事業所のうち、318 企業からの回答を得た。(回収率 63.6%)

業 種	調査依頼企業数	回答企業数
小売商業	50	43
卸商業	50	33
機械工業	50	35
総合建設業	50	30
運輸交通業	50	32
金融保険不動産業	50	28
宿泊飲食業	50	23
理美容サービス業	50	35
食品繊維工業	50	25
専門建設業	50	35

■判断方法：業況・売上高・営業利益・資金繰り・在庫高については、日本商工会議所 [LOBO 調査] の算出方法を基準に、D I 値を用いて判断する。
その他の調査項目については、実数値による判断を行う。

「D I」(diffusion index=デフュージョン イデックス)
景気動向指数を集め景気全体の動きを表す工夫をした指数であり、特に言及のない限り、前年同期に比べ「増加・好転」したとする企業の割合から「減少・悪化」したとする企業の割合を差し引いた数値である。
 $D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

要 約

— 景況幾分回復傾向にあり、しかし業種間の格差広がる。 —

今回の調査から奥州市全体の景気を調査するため、前沢地区の事業所を加え調査対象を更に増加した。

今期の管内商工業の景況（全産業実績DI）は、業況DI、売上高DI、借入状況DIで数値が前回より改善、営業利益DI、資金繰りDI、在庫高DIで数値が前回よりも悪化という結果となった。

前回調査においてマイナス幅が増加した景況は、今回の調査で業況、売上高、借入状況DI値が回復した。この回復の数値は調査対象の10業種の合計値を示したもので、これを業種別に分析すると格差がはっきりと表れている。

業種別の景況（全産業実績DI）は、「機械工業」「総合建設業」「運輸交通業」「金融保険不動産業」「食品繊維工業」で前回DI値よりも改善、「小売商業」「宿泊飲食業」「理美容サービス業」「専門建設業」は前回DI値より悪化、「卸商業」は前回DI値と変わらずとなった。

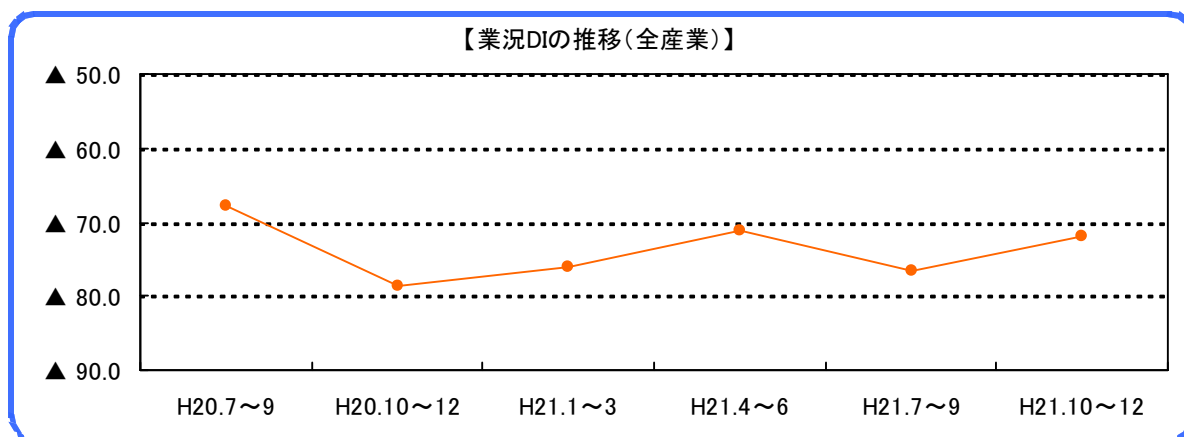
予想DI値（全産業）については、借入環境DI値が前回と同じ数値を示し、他の項目でDI値が前回より改善の数値を示している。

今期のキーワード 『業種間の格差』

（1）業況判断DI

前回比で見ると、全体では▲72.0（前回▲76.6）と前期よりもマイナス幅が減少した。前回調査で悪化したDI値が、今回再び回復に転じている。

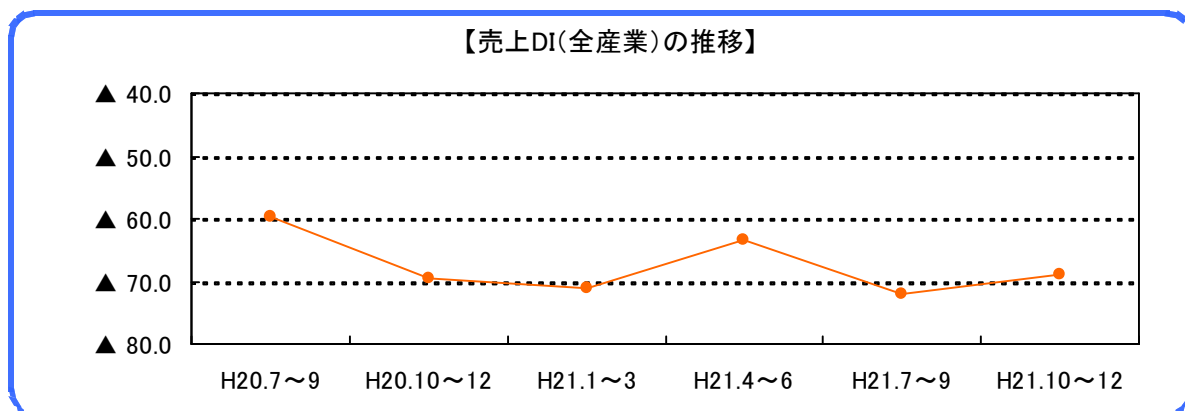
向こう3ヶ月（1月～3月）の先行き見通しについても、全体で▲75.4（前回▲77.0）と数値が回復している。



(2) 売上高D I

前回比で見ると、全体では▲68.9（前回▲72.0）と前回数値から回復した。DI 値の推移は前期悪化した値が今期再び回復に転じている。

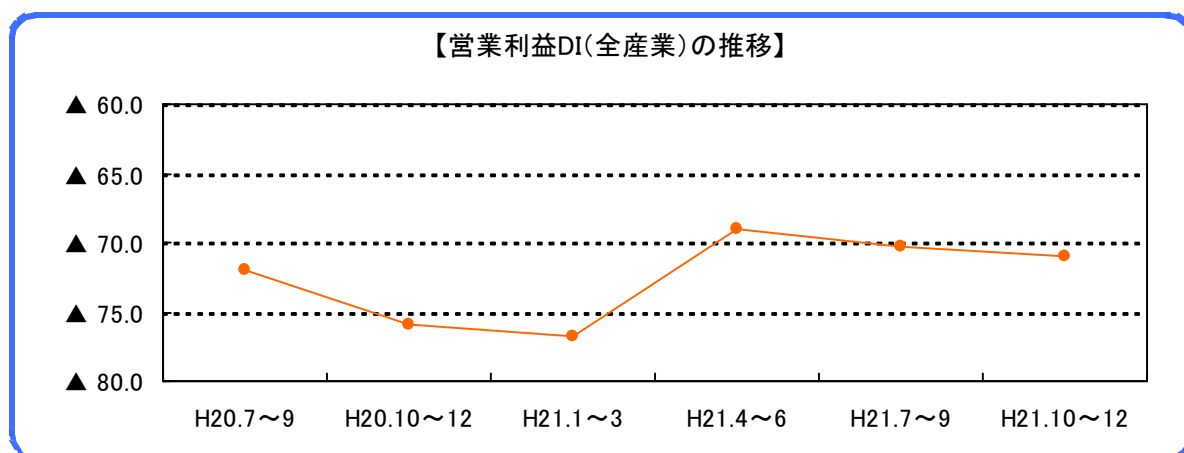
向こう3ヶ月（1月～3月）の先行き見通しについても、全体で▲70.3と前回の数値▲81.2よりも回復している。



(3) 営業利益D I

前回比で見ると、全体では▲71.0（前回▲70.3）と前回に続きマイナス幅が若干増加した。DI 値の推移は前回同様下降している。

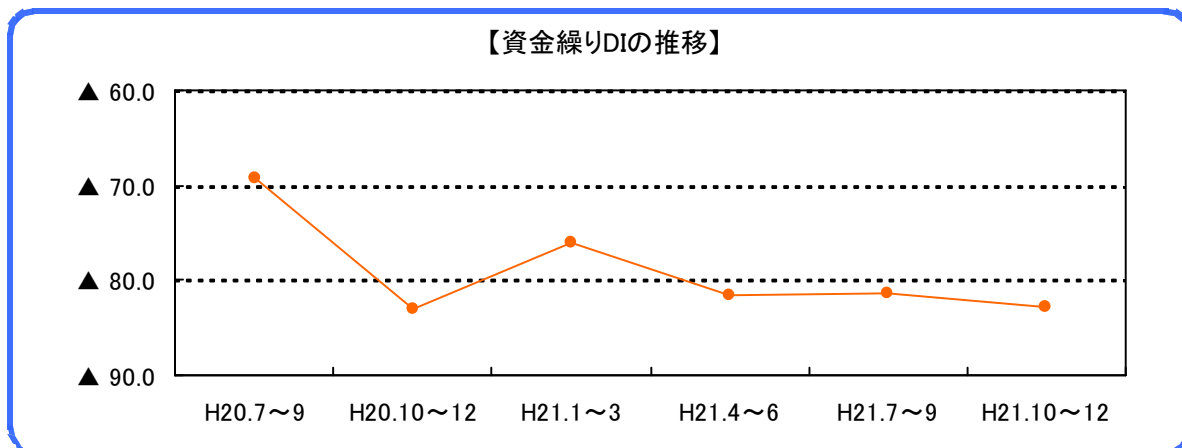
向こう3ヶ月（1月～3月）の先行き見通しについては、全体では▲78.2と前回の数値▲82.7よりも改善している。



(4) 資金繰りDI

前回比で見ると、全体では▲82.8（前回▲81.3）となり、マイナス幅が微増した。DI 値の推移では、前回調査に引き続きマイナス幅が減少した。

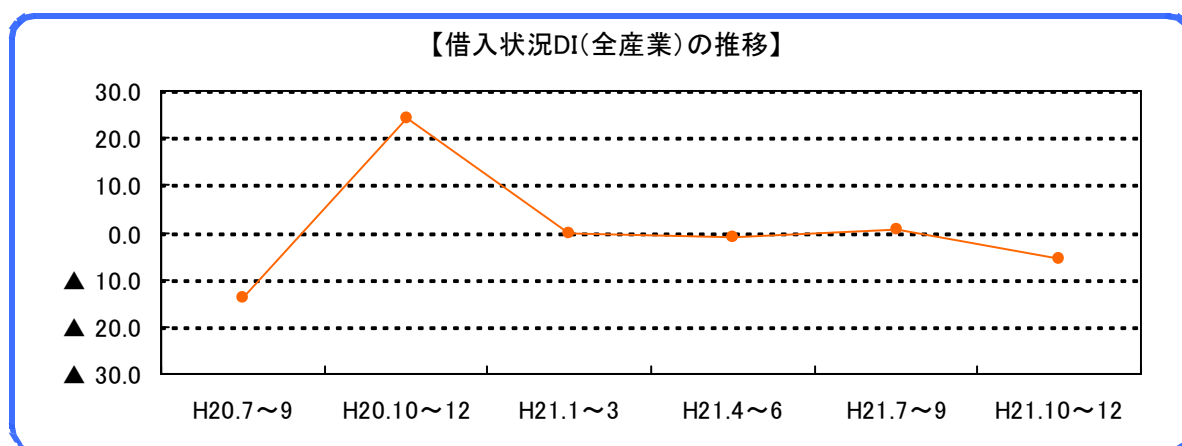
向こう3ヶ月（10月～12月）の先行き見通しについては、全体では▲81.8と前回の数値▲92.2から改善した。



(5) 借入状況DI

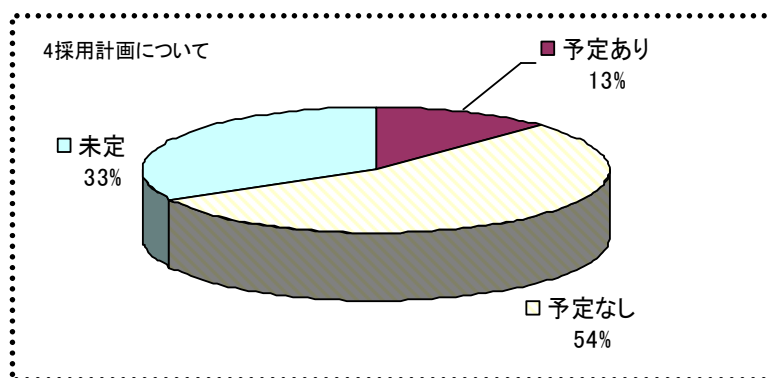
前回比で見ると、全体では▲5.7（前回▲0.5）とマイナス幅が増加し、借入額が減少している。DI 値の推移では、前回、前々回とゼロを挟んでマイナス、プラスの増減を繰り返している。

向こう3ヶ月（10月～12月）の先行き見通し（借入環境）は、全体で▲14.3で前回数値と同じとなり変化は見られていない。



(6) 雇用状況

従業員の数については、適正であると判断している企業が 70.8%、多いと感じている企業が 20.3%、少ないとしている企業が 8.9%となっている。採用計画については、雇用状況の悪化が企業にも波及しており、「予定なし」54.6%、と「未定」32.9%を併せた割合が 87.5%と全体の 8割強を占める結果となっている。



(7) 自由意見

(小売商業)

- ・創業以来こんなに減少は初めてで、これから上向きになるか疑問です。取り組みといってもお客様は広告で動くこともないし、今まで通り誠実に本物を作りつづけて店を根気よく開け続けることだと信じています。
- ・仕入値上昇と売上減少し代金回収の延長が増へ。特に 12 月に入ってから悪化する。
- ・交通量が少ない。高豊の「跡地」をどの様にするか考えてほしい。
- ・奥州市のお客様（水沢区）は地元で買わず他地区に訪れているような感じがある。
- ・見るだけの客が増えている。各地区に分散しているようだ。（客単価が低い）
- ・現在の状況が好転することは期待出来ないと思います。そんな中で、個店のレベルアップとお客様づくりに必死に取り組み生き残りをかけ努力する以外ないと思っています。

(卸商業)

- ・消費者の低価格指向は全国的に顕著な傾向として表されている現状です。TV等のマスコミも必要以上に消費者の心理をあおり、より一層購買意欲の減退に拍車をかけています。「デフレスパイラル」が現実味を帯びているのを実感しております。生鮮食品（野菜、果実）においても生活に直結しない贅品目の売れ行きが著しくない傾向が出始めてます。
- ・とにかく厳しいと感じています。現状を打開するために、オール電化・太陽光発電とう、エコ関連商材に力を入れています。
- ・「中小企業金融円滑化法」を商工会議所が積極的に会員へ向けて周知させる事が急務であると考えます。
- ・業況については、営業力強化をはかり、売上は増加しているが、それに伴い経費の伸び率が増え、

利益はあまり変わらず、今後は業務の強化し、利益増を図る。パソコンの有効活用を図っているところ。

- ・受注商品の作成日数が短くなって来ているので、受注指定日まで忙しさが増えた。販売店独自の製品依頼が最近多くなり、見込みで作成するのが難しくなった。
- ・軽量証明事業が12月に岩手県知事より認可登録されたのを期に、排水、環境水、土壌等の分析業務を本格スタートする。

(機械工業)

- ・受注量が回復しない内に、材料が再び高騰してきている。それに加え製品はメーカー寄りの、一方的な値下げ要請に応じなければならず、ますます状況は悪くなっている。
- ・固定経費の削減と変動経費の抑制。

(総合建設業)

- ・奥州エリアでの動向はとても気になるので、去年の試算表と比較しながら回答しました。売上は変わらずと記入していますが、今迄にない位キツイ営業です。とにかく先行きが経済、政治予算面から見てもこの業界は不安要素が大です。

(運輸交通業)

- ・環境悪化状況において、収受運賃改訂要請が思うに任せない。暫定税率(軽油)の撤廃、高速の無料化等早急に進めて欲しい。安全・環境・コンプラ関係等のコストが増となっている。
- ・事故車修理・入庫台数・売上が年々減少している。これは自分の出費が少ない、保険修理の占める割合が多くなっているからである。自分でお金を支払う場合の修理は必要最小限(法律的に問題ない程度)で済ませる。それから、車検を取らないで走行する車両が当地域で増加している。モラルの問題ではあるが、景気が影響していることも一因であると考えられる。

(金融保険不動産業)

- ・かつてない不況である。ひとつひとつの仕事を大事に、確実に実行し、信頼を得るような取組を心がけている。

(宿泊飲食業)

- ・この景況感、打つ手が無く、どうしようかと考えております。春先までこのままで行くと、大変なことになる。
- ・毎日、暗い報道ばかりで一体水沢の街はどうなっていくのか。すれ違う人は、皆下向きで暗い顔ばかり。商店街は6時になるとシャッター。どうにかして欲しいですね。
- ・安い物にしか注文がない様です。すべてにおいてシビアです。
- ・デフレスパイラルが増加している現在チラシのある商品には購買意欲はあるがその他の商品には購買意欲が減少している。円高が進行中。トヨタ問題等二番底のおそれあり。
- ・忙しいのは週末だけ。宣伝もなかなか思うように動けない。

(理美容サービス業)

- ・公的機関が地元にも目を向けていないように思われる。
- ・支店出店の為、資金繰り厳しい。

(食品繊維工業)

- ・年始売上が前年の60%とかなり低下した。原因はわからない。(雪の影響、1/3が日曜日)
- ・取引先を広げて受注をしている。
- ・デフレ化による工賃の激化。
- ・地場の物を取り入れ、付加価値の取れるような商品作りを手がけていく方向でおりますが、壁も多く、一歩ずつ踏み固めながら進んでおります。

(専門建設業)

- ・戸建住宅は全然建っていない。胆江地区は前年対比50%位かと思う。状況は悪化最悪である。経営計画書を作成しそれに向って事業経営をしている。又、年初にはその年の決意表明をし社員一同示している。
- ・建設関係への投資減少により、設計業としては益々厳しさが増すと思われる。
- ・常用の有資格者を確保していなければ、公共工事の指名対称には入れず、人件費の確保が厳しい業界です。
- ・仕事が減少、のどから手が出るほど欲しい仕事も価格が安い。断る勇気も必要だ。

* 産業別業況調査結果

【全 産 業】

当期（平成 21 年 10～12 月期：以下同）の奥州市全体の全産業を通じての業況は前回調査よりも「改善」の傾向にある。産業別業況においては「機械工業」「総合建設業」「運輸交通業」「金融保険不動産業」「食品繊維工業」で数値が改善、「卸商業」で前回と同じ数値、「小売商業」「宿泊飲食業」「理美容サービス業」「専門建設業」で数値が悪化した。

来期（平成 22 年 1～3 月期：以下同）の全産業を通じての見通しは「改善」の見通しが示されている。産業別では「小売商業」「機械工業」「総合建設業」「運輸交通業」「金融保険不動産業」で数値が改善、「卸商業」「宿泊飲食業」「理美容サービス業」「食品繊維工業」「専門建設業」で数値が悪化した。

【1. 小売商業】

当期の業況DIは▲100.0と前回（▲85.7）より数値が悪化した。項目別では、資金繰りDI、借入状況DIで数値が悪化、売上高DI、営業利益DI、在庫高DIで数値が改善した。

来期の見通しについては、業況DIは▲91.7（前回▲100.0）と前回よりも改善している。項目別では売上高DI、営業利益DI、在庫高DIで数値が改善の見通し、資金繰りDIについては前回同様の数値、借入環境DIは悪化の見通しが示されている。

【2. 卸商業】

当期の業況DIは▲52.9となり前回（▲52.9）と同様の数値となった。項目別では、売上高DI、営業利益DI、在庫高DI、資金繰りDI、借入状況DIと、全ての項目で数値が悪化した。

来期の見通しについては、業況DIが▲68.4と前回（前回▲60.0）より数値が悪化した。項目別では、売上高DI、営業利益DI、在庫高DIで悪化の見通し、資金繰りDI、借入環境DIは改善の見通しを示している。

【3. 機械工業】

当期の業況DIは▲50.0と前回（▲88.2）より数値が改善した。項目別では、売上高DI、営業利益DI、資金繰りDI、借入状況DIで数値が改善、在庫高DIで前回同様の数値だった。

来期の見通しについても、業況DIが▲30.0（前回▲64.7）と改善している。項目別では売上高DI、営業利益DI、資金繰りDI、在庫高DIで項目で改善の見通し、借入環境DIで悪化の見通しを示している。

【4. 総合建設業】

当期の業況DIは▲87.5と前回（▲100.0）より数値が改善した。項目別では売上高DI、借入状況DIで数値が改善、資金繰りDI、在庫高DIは前回同様の数値、営業利益DIで数値が悪化した。

来期の見通しについても、業況DIが▲70.0（前回▲75.0）と数値が改善している。項目別でも売上高DI、営業利益DI、資金繰りDI、借入環境DIで改善の見通し、在庫高DIは前回同様の数値を示している。

【5. 運輸交通業】

当期の業況DIは▲87.5で前回（▲100.0）より数値が改善した。項目別では売上高DI、営業利益DI、在庫高DI、借入状況DIで数値が改善、資金繰りDIは前回同様の数値を示している。

来期の見通しについては、業況DIが▲84.6（前回▲100.0）と数値が改善した。項目別では借入環境

D Iで数値が悪化、売上高D I、営業利益D I、資金繰りD I、在庫高D Iは前回同様の数値だった。

【6. 金融保険不動産業】

当期の業況D Iは▲62.5と前回(▲81.8)より数値が改善した。項目別では売上高D I、営業利益D I、借入状況D Iについて数値が改善、在庫高D Iは悪化の数値を示している。資金繰りD Iは前回同様の数値だった。

来期の見通しについても業況D Iが▲62.5(前回▲80.0)と数値が改善した。項目別では売上高D I、営業利益D Iで数値が改善、在庫高D I、借入環境D Iで数値の悪化見通しがなされている。資金繰りD Iは前回同様の数値だった。

【7. 宿泊飲食業】

当期の業況D Iは▲89.5と前回(▲75.0)より数値が悪化した。項目別では売上高D I、営業利益D I、借入状況D Iについて数値が悪化した。資金繰りD I、在庫高D Iは前回同様の数値だった。

来期の見通しについても業況D Iが▲90.0(前回▲80.0)と数値が悪化した。項目別では営業利益D I、借入環境D Iで数値の悪化見通しがなされている。売上高D I、資金繰りD I、在庫高D Iは前回同様の数値だった。

【8. 理美容サービス業】

当期の業況D Iは▲70.0と前回(▲50.0)より数値が悪化した。項目別では売上高D I、営業利益D I、資金繰りD I、在庫高D I、借入状況D Iの全項目で数値が悪化した。

来期の見通しについても業況D Iが▲82.6(前回▲66.7)と数値が悪化した。項目別では売上高D Iで数値の悪化見通し、営業利益D I、在庫高D I、借入環境D Iで改善の見通しがされている。資金繰りD Iは前回同様の数値だった。

【9. 食品繊維工業】

当期の業況D Iは▲50.0と前回(▲100.0)より数値が改善した。項目別では売上高D I、営業利益D Iについて数値が改善、資金繰りD I、在庫高D I、借入状況D Iは数値が悪化した。

来期の見通しについては業況D Iが▲84.6(前回▲80.0)と数値が悪化した。項目別では売上高D I、在庫高D I、資金繰りD I、借入環境D Iで数値の悪化見通しがなされている。営業利益D Iは数値が改善している。

【10. 専門建設業】

当期の業況D Iは▲70.0と前回(▲62.5)より数値が悪化した。項目別では在庫高D Iについて数値が悪化、売上高D I、営業利益D I、資金繰りD I、借入状況D Iで数値が改善した。

来期の見通しについては業況D Iが▲89.5(前回▲71.4)と数値が悪化した。項目別では、営業利益D Iは数値が悪化、売上高D I、資金繰りD I、在庫高D I、借入環境D Iで数値の改善見通しがなされている

下段-前回DI値

青-改善 赤-悪化

【産業別業況実績DI】〔期間：平成21年10月～12月実績〕

	全産業	小売商業	卸商業	機械工業	総合建設	運輸交通	金融保険	宿泊飲食	理美容サ	食品繊維	専門建設
業況	▲ 72.0	▲ 100.0	▲ 52.9	▲ 50.0	▲ 87.5	▲ 87.5	▲ 62.5	▲ 89.5	▲ 70.0	▲ 50.0	▲ 70.0
	-76.6	-85.7	-52.9	-88.2	-100.0	-100.0	-81.8	-75.0	-50.0	-100.0	-62.5
売上高	▲ 68.9	▲ 81.3	▲ 42.9	▲ 71.4	▲ 70.0	▲ 80.0	▲ 52.9	▲ 89.5	▲ 63.0	▲ 68.4	▲ 63.6
	-72.0	-85.7	-33.3	-100.0	-71.4	-100.0	-57.1	-83.3	-41.2	-83.3	-86.7
営業利益	▲ 71.0	▲ 72.4	▲ 42.9	▲ 68.0	▲ 90.9	▲ 78.9	▲ 57.1	▲ 89.5	▲ 63.0	▲ 60.0	▲ 84.0
	-70.3	-83.3	-40.0	-81.8	-77.8	-81.8	-69.2	-69.2	-28.6	-69.2	-100.0
資金繰り	▲ 82.8	▲ 85.7	▲ 100.0	▲ 52.9	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 68.4	▲ 69.2	▲ 84.6
	-81.3	-71.4	-71.4	-85.7	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-25.0	-60.0	-100.0
在庫高	▲ 54.0	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ 100.0	▲ 33.3	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 75.0	▲ 40.0	▲ 80.0
	-51.6	-81.8	-16.7	-33.3	-100.0	-100.0	-33.3	-100.0	-60.0	0.0	-50.0
借入状況	▲ 5.7	▲ 16.3	9.1	▲ 2.9	▲ 10.0	▲ 16.1	0.0	▲ 13.0	▲ 5.7	4.0	▲ 2.9
	0.5	-100.0	-7.4	24.0	27.8	-5.6	4.5	-20.0	-8.3	0.0	11.5

※借入状況は、数値減少は借入金減少を示し「改善」、数値増加は借入金増加を示し「悪化」と判定。

【産業別業況予想DI】〔期間：平成22年1月時点～向こう3ヶ月予測〕

	全産業	小売商業	卸商業	機械工業	総合建設	運輸交通	金融保険	宿泊飲食	理美容サ	食品繊維	専門建設
業況	▲ 75.4	▲ 91.7	▲ 68.4	▲ 30.0	▲ 70.0	▲ 84.6	▲ 62.5	▲ 90.0	▲ 82.6	▲ 84.6	▲ 89.5
	-77.0	-100.0	-60.0	-64.7	-75.0	-100.0	-80.0	-80.0	-66.7	-80.0	-71.4
売上高	▲ 70.3	▲ 79.3	▲ 75.0	4.3	▲ 72.7	▲ 100.0	▲ 52.9	▲ 100.0	▲ 65.5	▲ 80.0	▲ 92.0
	-81.2	-86.7	-63.6	-77.8	-77.8	-100.0	-81.8	-100.0	-63.6	-66.7	-100.0
営業利益	▲ 78.2	▲ 92.0	▲ 90.0	▲ 25.0	▲ 83.3	▲ 100.0	▲ 75.0	▲ 88.2	▲ 73.3	▲ 79.8	▲ 90.9
	-82.7	-100.0	-69.2	-60.0	-84.6	-100.0	-80.0	-81.8	-100.0	-83.3	-87.5
資金繰り	▲ 81.8	▲ 100.0	▲ 75.0	▲ 23.1	▲ 84.6	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 77.8	▲ 73.3	▲ 87.5
	-92.2	-100.0	-100.0	-83.3	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-77.8	-71.4	-100.0
在庫高	▲ 61.3	▲ 37.5	▲ 53.8	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 71.4	▲ 63.6	▲ 81.8
	-64.7	-77.8	-50.0	-42.9	-100.0	-100.0	0.0	-100.0	-100.0	20.0	-100.0
借入環境	▲ 14.3	▲ 100.0	20.0	▲ 20.0	14.3	9.1	▲ 50.0	▲ 100.0	23.1	▲ 50.0	▲ 55.6
	-14.3	0.0	0.0	0.0	-100.0	50.0	-33.3	-50.0	11.1	50.0	-75.0

※借入環境は、数値増加は借入緩和を示し「改善」、数値減少は借入困難を示し「悪化」と判定。

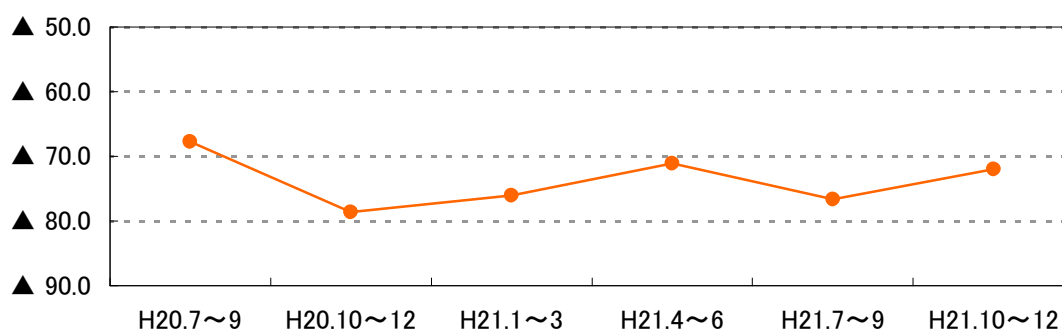
■ 業況判断 ■

【業況DI（全産業）の推移】

	H20.7~9	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	H21.7~9	H21.10~12	見通し
全産業	▲ 67.7	▲ 78.6	▲ 76.0	▲ 71.1	▲ 76.6	▲ 72.0	▲ 75.4
小売商業	▲ 63.6	▲ 84.6	▲ 100.0	▲ 57.9	▲ 85.7	▲ 100.0	▲ 91.7
卸商業	▲ 83.3	▲ 100.0	▲ 60.0	▲ 50.0	▲ 52.9	▲ 52.9	▲ 68.4
機械工業	-	-	-	▲ 85.7	▲ 88.2	▲ 50.0	▲ 30.0
総合建設	-	-	-	▲ 75.0	▲ 100.0	▲ 87.5	▲ 70.0
運輸交通	▲ 85.7	▲ 83.3	▲ 100.0	▲ 71.4	▲ 100.0	▲ 87.5	▲ 84.6
金融保険	▲ 50.0	▲ 80.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 81.8	▲ 62.5	▲ 62.5
宿泊飲食	-	-	-	▲ 86.7	▲ 75.0	▲ 89.5	▲ 90.0
理美容サ	-	-	-	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 70.0	▲ 82.6
食品繊維	-	-	-	▲ 81.8	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 84.6
専門建設	-	-	-	▲ 47.4	▲ 62.5	▲ 70.0	▲ 89.5

平成21年10月現在

【業況DIの推移(全産業)】



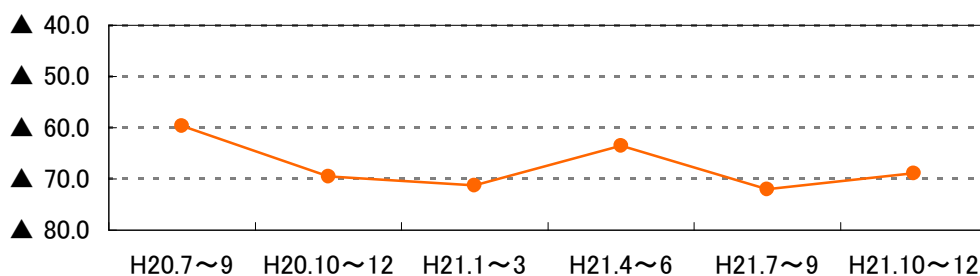
■ 売上（受注・出荷） ■

【売上DI（全産業）の推移】

	H20.7~9	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	H21.7~9	H21.10~12	見通し
全産業	▲ 59.6	▲ 69.5	▲ 71.2	▲ 63.5	▲ 72.0	▲ 68.9	▲ 70.3
小売商業	▲ 77.8	▲ 71.4	▲ 87.5	▲ 36.8	▲ 85.7	▲ 81.3	▲ 79.3
卸商業	▲ 84.6	▲ 84.6	▲ 84.6	▲ 46.7	▲ 33.3	▲ 42.9	▲ 75.0
機械工業	-	-	-	▲ 86.2	▲ 100.0	▲ 71.4	4.3
総合建設	-	-	-	▲ 46.7	▲ 71.4	▲ 70.0	▲ 72.7
運輸交通	▲ 33.3	▲ 71.4	▲ 85.7	▲ 75.0	▲ 100.0	▲ 80.0	▲ 100.0
金融保険	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 71.4	▲ 73.3	▲ 57.1	▲ 52.9	▲ 52.9
宿泊飲食	-	-	-	▲ 86.7	▲ 83.3	▲ 89.5	▲ 100.0
理美容サ	-	-	-	▲ 23.1	▲ 41.2	▲ 63.0	▲ 65.5
食品繊維	-	-	-	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 68.4	▲ 80.0
専門建設	-	-	-	▲ 71.4	▲ 86.7	▲ 63.6	▲ 92.0

平成21年10月現在

【売上DI(全産業)の推移】



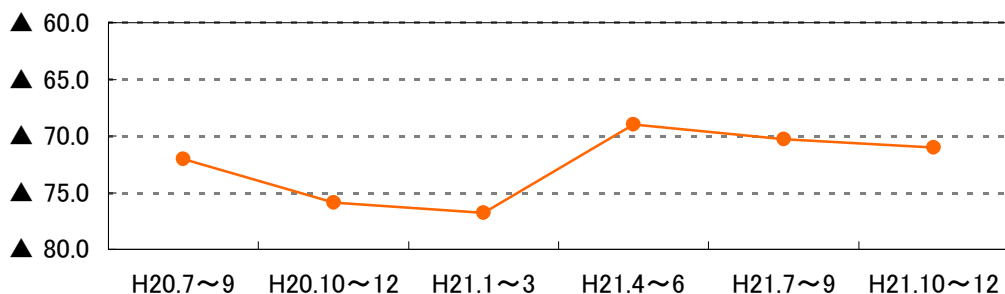
■ 営業利益 ■

【営業利益DI（全産業）の推移】

	H20.7~9	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	H21.7~9	H21.10~12	見通し
全産業	▲ 72.0	▲ 75.9	▲ 76.8	▲ 69.0	▲ 70.3	▲ 71.0	▲ 78.2
小売商業	▲ 66.7	▲ 85.7	▲ 88.8	▲ 42.9	▲ 83.3	▲ 72.4	▲ 92.0
卸商業	▲ 84.6	▲ 83.3	▲ 60.0	▲ 63.6	▲ 40.0	▲ 42.9	▲ 90.0
機械工業	-	-	-	▲ 80.0	▲ 81.8	▲ 68.0	▲ 25.0
総合建設	-	-	-	▲ 57.1	▲ 77.8	▲ 90.9	▲ 83.3
運輸交通	▲ 81.8	▲ 73.3	▲ 86.7	▲ 77.8	▲ 81.8	▲ 78.9	▲ 100.0
金融保険	▲ 33.3	▲ 77.8	▲ 77.8	▲ 85.7	▲ 69.2	▲ 57.1	▲ 75.0
宿泊飲食	-	-	-	▲ 88.2	▲ 69.2	▲ 89.5	▲ 88.2
理美容サ	-	-	-	▲ 41.2	▲ 28.6	▲ 63.0	▲ 73.3
食品繊維	-	-	-	▲ 63.6	▲ 69.2	▲ 60.0	▲ 79.8
専門建設	-	-	-	▲ 81.0	▲ 100.0	▲ 84.0	▲ 90.9

平成21年10月現在

【営業利益DI(全産業)の推移】



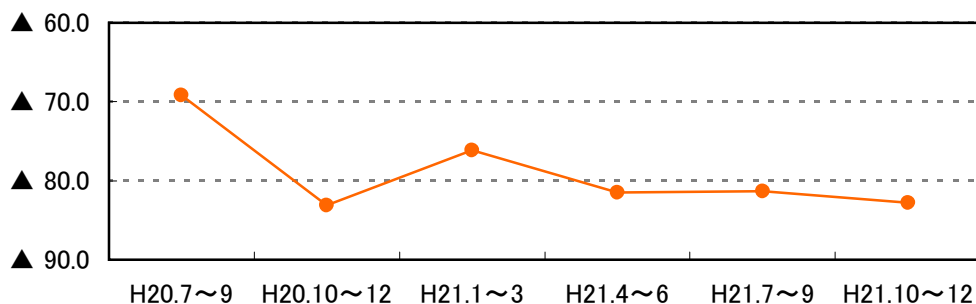
■ 資金繰り ■

【資金繰りDI（全産業）の推移】

	H20.7~9	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	H21.7~9	H21.10~12	見通し
全産業	▲ 69.2	▲ 83.1	▲ 76.1	▲ 81.5	▲ 81.3	▲ 82.8	▲ 81.8
小売商業	▲ 100.0	▲ 80.0	▲ 86.7	▲ 71.4	▲ 71.4	▲ 85.7	▲ 100.0
卸商業	▲ 60.0	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 71.4	▲ 100.0	▲ 75.0
機械工業	-	-	-	▲ 100.0	▲ 85.7	▲ 52.9	▲ 23.1
総合建設	-	-	-	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 84.6
運輸交通	▲ 100.0	▲ 83.3	▲ 100.0	▲ 60.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
金融保険	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 33.3	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
宿泊飲食	-	-	-	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
理美容サ	-	-	-	▲ 60.0	▲ 25.0	▲ 68.4	▲ 77.8
食品繊維	-	-	-	▲ 77.8	▲ 60.0	▲ 69.2	▲ 73.3
専門建設	-	-	-	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 84.6	▲ 87.5

平成21年10月現在

【資金繰りDIの推移】



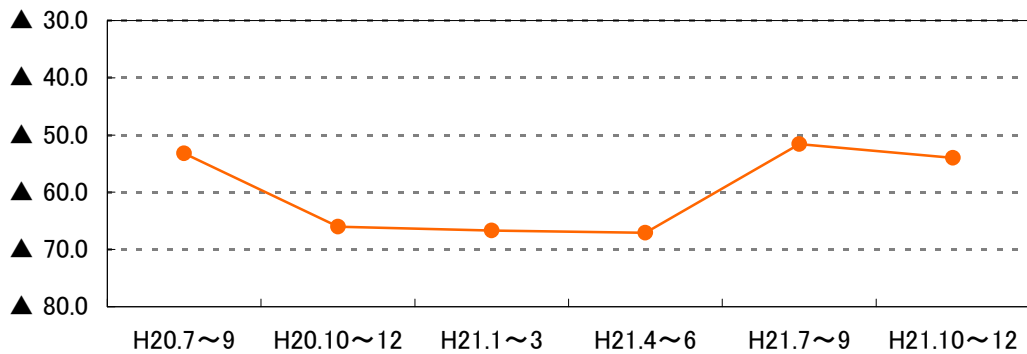
■在庫高■

【在庫高DI（全産業）の推移】

	H20.7~9	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	H21.7~9	H21.10~12	見通し
全産業	▲ 53.2	▲ 66.0	▲ 66.7	▲ 67.1	▲ 51.6	▲ 54.0	▲ 61.3
小売商業	▲ 40.0	▲ 14.3	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 81.8	▲ 28.6	▲ 37.5
卸商業	0.0	▲ 71.4	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 42.9	▲ 53.8
機械工業	-	-	-	▲ 46.7	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0
総合建設	-	-	-	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
運輸交通	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 20.0	▲ 100.0	▲ 33.3	▲ 100.0
金融保険	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 100.0	▲ 100.0
宿泊飲食	-	-	-	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
理美容サ	-	-	-	▲ 33.3	▲ 60.0	▲ 75.0	▲ 71.4
食品繊維	-	-	-	▲ 100.0	0.0	▲ 40.0	▲ 63.6
専門建設	-	-	-	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 80.0	▲ 81.8

平成21年10月現在

【在庫高DI(全産業)の推移】



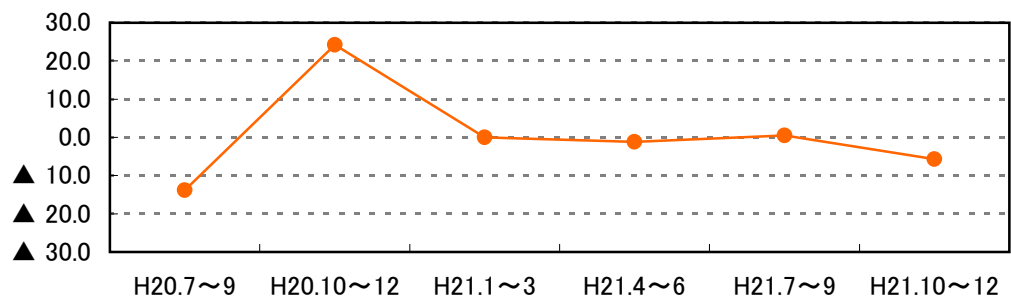
■借入状況■

【借入状況DI（全産業）の推移】

	H20.7~9	H20.10~12	H21.1~3	H21.4~6	H21.7~9	H21.10~12	見通し
全産業	▲ 13.8	24.2	0.0	▲ 1.2	0.5	▲ 5.7	▲ 14.3
小売商業	▲ 20.0	50.0	33.3	4.2	▲ 100.0	▲ 16.3	▲ 100.0
卸商業	0.0	▲ 11.1	▲ 33.3	▲ 7.7	▲ 7.4	9.1	20.0
機械工業	-	-	-	40.6	24.0	▲ 2.9	▲ 20.0
総合建設	-	-	-	4.5	27.8	▲ 10.0	14.3
運輸交通	▲ 33.3	40.0	▲ 11.1	▲ 26.3	▲ 5.6	▲ 16.1	9.1
金融保険	▲ 20.0	33.3	0.0	▲ 12.0	4.5	0.0	▲ 50.0
宿泊飲食	-	-	-	12.5	▲ 20.0	▲ 13.0	▲ 100.0
理美容サ	-	-	-	▲ 10.7	▲ 8.3	▲ 5.7	23.1
食品繊維	-	-	-	▲ 9.5	0.0	4.0	▲ 50.0
専門建設	-	-	-	▲ 18.8	11.5	▲ 2.9	▲ 55.6

平成21年10月現在

【借入状況DI(全産業)の推移】

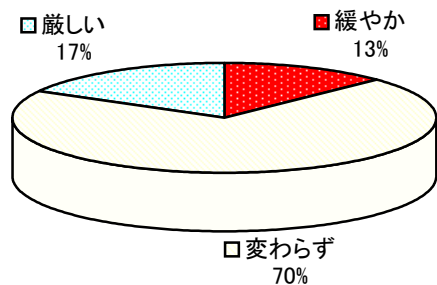


* 参考調査（全産業）

1 借入環境

	緩やか	変わらず	厳しい	合計
回答	33	182	44	259
割合	12.7%	70.3%	17.0%	100.0%

1借入の環境について



2 設備投資

※設備投資をしたか

	した	しない	回答数
H20. 7月～9月	33	124	157
H20. 10月～12月	31	141	172
H21. 1月～3月	18	145	163
H21. 4月～6月	33	220	253
H21. 7月～9月	28	182	210
H21. 10月～12月	49	256	305
割合	16.1%	83.9%	

※向こう3ヶ月内に設備投資の予定があるか

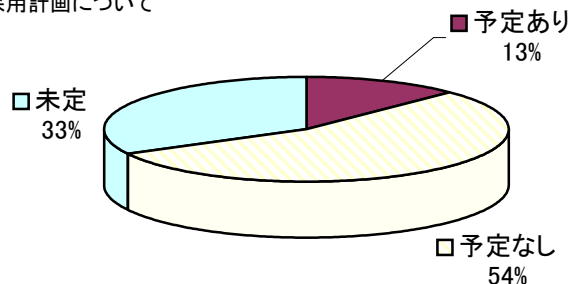
	する	しない	回答数
H20. 7月～9月	18	135	153
H20. 10月～12月	17	155	172
H21. 1月～3月	42	112	154
H21. 4月～6月	36	217	253
H21. 7月～9月	33	176	209
H21. 10月～12月	34	276	310
割合	11.0%	89.0%	

3 雇用

※現在の従業員数はどうか

	多い	適正	少ない
回答	62	216	27
割合	20.3%	70.8%	8.9%

4採用計画について



4 採用計画について

	予定あり	予定なし	未定
回答	38	166	100
全体割合	12.5%	54.6%	32.9%

5 全体的な経営環境はどうか（自由回答）

		+	割合		-	割合
①天候の影響	好影響	30	19.6%	悪影響	123	80.4%
②販売価格	上昇	17	7.9%	低下	199	92.1%
③冬季賞与	支給	38	15.7%	なし	204	84.3%
④時間外労働	増加	36	17.1%	減少	174	82.9%
⑤人件費比率	増加	90	44.1%	減少	114	55.9%
⑥競争	緩和	6	2.5%	激化	232	97.5%
⑦現金売上	上昇	25	13.0%	低下	168	87.0%
⑧代金回収期間	短縮	33	22.1%	延長	116	77.9%
⑨仕入値	上昇	112	63.3%	低下	65	36.7%
⑩当期利益	好転	41	17.2%	悪化	197	82.8%

5 経営環境

